

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和7年度第2回宮古市特別職報酬等審議会を次のとおり開催しました。

令和7年8月20日

宮古市特別職報酬等審議会

- 1 開催日時
令和7年8月6日（水） 午後2時00分～午後3時25分
- 2 開催場所
宮古市役所 4階特別会議室
- 3 議題
(1) 市議会議長、市議会副議長及び市議会議員の議員報酬の額について
(2) 市長、副市長及び教育長の給料の額について
(3) 行政委員の報酬の額について
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
総務部総務課給与厚生係 電話0193-77-5020

令和7年度第2回宮古市特別職報酬等審議会

1 出席者（7名）

伊藤重行委員（会長）、盛岩幸恵委員、花輪政文委員、菊池護委員、
中崎則男委員（職務代理）、坂下実穂子委員、盛合敏子委員

2 欠席者

なし

3 事務局出席者（3名）

総務部長 箱石剛、総務部総務課長 中村寛亮
総務部総務課副主幹兼給与厚生係長 佐々木成人

4 傍聴者

1名

5 議事等

- ・議題(1)について、審議を進めることで、全委員から了承された。
- ・議題(2)及び(3)については、改定の要望が出ていないことから、現時点では考
える段階ではないと判断し、全委員から了承された。
- ・各委員から意見が出され、次回引き続き審議することとなった。
- ・次回は、10月中旬までに開催予定となった。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題(1)「市議会議長、市議会副議長及び市議会議員の議員報酬の額について」】 (委員) ・報酬額を上げることは、当市の財政力指数とラスパイレス指数に影響するか。 (委員) ・試算額の考え方について、累積改定率の数値と「万円未満の端数切り上げ」を説明してほしい。 (委員) ・宮古市の市民所得は震災後減り、復興需要で伸び、それがなくなり下がり、コロナ、そして物価高、賃金アップの流れになっているが、内陸に比べて、沿岸の勢いは下がります。宮古市だけでなく、沿岸地域がそんな感じで、世の中の人頑張っている時ということも考えていかなければならないと思います。 (委員) ・市民所得の推移や市の財政状況、地域経済は厳しい状況であると思われるが、報酬額について、上げる方向でよいと思います。 (委員) ・報酬額を上げるタイミングはいい。ただし、市民が理解できる額で、結論を出していくべきであると思います。 (委員) ・議員要望額の5万円の上げ幅に疑問があり、市民目線と増額の根拠が重要であると思います。	(事務局) ・影響するものではないと捉えています。 (事務局) ・試算額は岩手県の算出方法を一部参考にした形で累積改定率を用い、考えられる根拠となる数値を示したものです。 ・万円未満を切り上げすることについては、試算の段階で参考にしたものであり、万円未満を切り上げしなければならないものでなく、決め方と思います。 (事務局) ・市民所得について、震災の影響もあり、平成の最後にかけて、少し沿岸自治体は上昇傾向にありましたが、その後、コロナの影響もあり下がってきたところで、なかなか市民所得の増減を参考にするのは難しいと思います。 (事務局) ・今回の資料以外にも追加資料の要望がありましたら、対応してまいります。 (事務局) ・市民理解に配慮しながら、慎重に進める必要があると捉えています。 (事務局) ・委員の方から必要な資料の追加要望がありましたら、対応してまいります。

【議題(2)「市長、副市長及び教育長の給料の額について」】

【議題(3)「行政委員の報酬の額について」】

- ・議題(2)及び(3)については、改定の要望がないことから、現時点では考える段階ではないと判断し、全委員が了承された。(質問・意見なし)